

令和3年度 芦屋市立休日応急診療所運営協議会（書面開催） 回答書

資料に関するご意見・ご質問等について

※ご意見をいただいた委員のみ記載しています。

発言者	分類	委員からの意見	回答
仁科委員	ご意見	休日応急診療所の来客患者数の激減により運営が成り立たない心配になります。薬の在庫もコロナで状況が変わり、期限切れとなる物もありで、困ります。分割仕入等も考えてみてはと思いますが。	ご意見、ありがとうございます。 地域救急の一部として継続して運営していくなかで、薬剤品の購入については、芦屋市医師会と協議しつつ、調達を行っております。随時利用者数に併せて、在庫も見直しも行っていきたいと考えておりますので、今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。
澤田委員	ご意見	令和2年～3年度の新型コロナ感染拡大期における休日応急診療所の運営につきましては関係各位の皆様のご協力を頂き大変感謝しております。 決算上は非常に苦しい状況ではありますが、休日における新型コロナ診断確定のための検査体制の確立、非常勤の少人数の皆様によって運営いただいている現状等受診数増加のためには多くの課題があると考えられます。 今後も同様に多数の患者様を受け入れるためにはさらに多くの設備、人的配置等必要となるため困難な状況は今暫く持続すると思われま。	ご意見、ありがとうございます。 患者様が休日の通院先に困らないように今後も継続して、運営を継続していく意義は大きいと考えていますが、新型コロナウィルスの感染状況に合わせ、保健所等とも連携しつつ必要な人的配置等の検討もしてまいります。 先行きが不透明な状況が続きますが、随時運営に必要な相談は行っていきますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。